

～韓国の大統領選挙から見る日本と韓国の選挙の違い～

下関市総合政策部国際課

(釜山広域市派遣職員)

阿部 さおり

アンニョンハセヨ！韓国では5月9日（火）大統領選挙が行われ、「共に民主党」から立候補した「文在寅（ムンジェイン）」氏が第19代大統領に決定しました。9年間にわたる保守政権の幕が下り、新しく民主党政権の幕が上がりました。

中央選挙委員会のホームページによると、投票者数3,267万2,010人に対し、文在寅氏は1,342万3,800票（41.08%）を獲得し、2位以下の候補者を大きく引き離しました。投票率は77.2%で、前回の2012年の大統領選挙の75.8%より1.4%増加しています。また、今回立候補した15名（途中で2人が辞退しましたが）は過去最高の人数とのことでした。

投票日当日は、韓国も日本と同じように自宅近くの投票所へ行って、朝6時から夜8時まで投票を行うことができます。

今回は韓国と日本の選挙の違いについてご紹介したいと思います。

1. スタンプを押して投票

投票用紙ですが、日本では自分が投票したい人の名前を投票用紙に記入し、投票を行います。韓国ではあらかじめ投票用紙に候補者の名前が印刷してあり、自分が投票をしたい人の名前の下に押印部分にスタンプを押します。ちなみに、このスタンプを手などに押して、SNSへ投稿するのがちょっとした流行になっています。また、その投稿したものを見せると、割引などの特典があるカフェなどもあるようです。

2. 空港でも期日前投票ができる

韓国では期日前投票は2日間しか行われません。今回は、5月4日、5日の

二日間でした。この期間中、身分証明書があれば住民センターなどの投票所だけでなく、空港などでも投票することができます。投票時間は午前6時から午後6時までです。報道によると、有権者の26%にあたる1,100万人が期日前投票を行ったとのこと。

3. 歌って踊る選挙戦

選挙戦が始まると、日本でも候補者が選挙カーの中から名前を連呼したり、選挙カーの上や前に立って演説したりしますが、韓国では歌謡曲やK-POPに候補者の名前を入れた替え歌にして大音量で流したり、それに合わせて選挙応援の人たちが踊って、候補者のPRを行います。

4. 掲示板ではなく横断幕

公示日になると日本では板で作られた掲示板に、届出順でポスターが掲示されますが、韓国ではビニールシートのような素材の横断幕に各候補者のポスターが掲示され、その上から透明ビニールでポスターをカバーしています。日本と同じように候補者のポスターを毀損すると罰金が課されるようです。

5. 芸能人も積極的に投票をPR

投票日になると、投票をおこなった芸能人が投票所で写真を撮り、それをインスタグラムなどのSNSにアップし、投票へ行くようにファンに呼びかけ、PRを行っています。

このように日本との違いがある韓国の選挙ですが、もし韓国へ選挙期間中に行かれることがあったら、ぜひ選挙運動を見てみて下さい。もっと違う点を見ることができるかと思います。



立候補者ポスター